

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月13日

上場会社名 ニッセイ同和損害保険株式会社
 コード番号 8759 URL <http://www.nissaydowa.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 立山 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部主計グループ長 (氏名) 内山 雪絵
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東大

TEL 03-5550-0232

(注)金額は記載単位未満を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しております。

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	234,263	—	△12,176	—	△5,727	—
20年3月期第3四半期	238,710	—	10,583	—	6,188	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△15.08	—
20年3月期第3四半期	16.29	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	1,120,362	199,150	17.8	524.67
20年3月期	1,214,111	273,308	22.5	719.51

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 199,150百万円 20年3月期 273,308百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	8.00	8.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	311,000	△2.3	△9,000	△172.1	△4,000	△162.0	△10.53

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2)四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 390,055,814株 20年3月期 390,055,814株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 10,485,327株 20年3月期 10,205,072株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 379,735,936株 20年3月期第3四半期 379,872,119株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであるため、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、通期の業績予想に関する事項につきましては、平成20年11月19日に公表した業績予想を修正しております。上記予想に関する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の深刻化や世界経済の減速、株式・為替市場の大幅な変動の影響等により、企業収益は大幅に減少、雇用情勢は急速に悪化しつつある等、景気は一層厳しさを増す状況となりました。

損害保険業界におきましては、自動車損害賠償責任保険の保険料率引き下げ等の影響に加え、このような厳しい経済動向により、保険料収入は減収となりました。

このような情勢のなか、当社は、行動指針である「顧客第一」への取組をより鮮明にすべく、全社スローガン「全てはお客さまからの信頼回復のために」のもと、引き続き「経営品質革新」を最重要課題として、保険募集から保険金支払いまでのあらゆる領域での、お客さまの視点に立った業務品質の向上に向け、全社を挙げて取り組んでまいりました。

また、「経営品質革新」に向けた取組に併せて、平成18年度からスタートした中期経営計画に基づき、株主の皆様、お客さまの満足度向上を通じた企業価値の最大化を目標に据えた「CSR経営の実現」に努めるとともに、「最高の総合保険サービス」のご提供をより確かなものとするよう、日本生命保険相互会社との総合保険戦略をさらに強化してまいりました。

このほか、自然災害に対する義援金を募るなど、社会貢献活動にも努めてまいりました。

このような施策を展開いたしました結果、経常収益につきましては、保険引受収益が2,635億円、資産運用収益が221億円、その他経常収益が6億円となり、2,863億円となりました。

一方、経常費用につきましては、保険引受費用が2,287億円、資産運用費用が265億円、営業費及び一般管理費が427億円、その他経常費用が5億円となり、2,984億円となりました。

この結果、経常損失は121億円となりました。

これに特別損益、法人税及び住民税並びに法人税等調整額を加減した四半期純損失は57億2千7百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ937億円減少して1兆1,203億円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少などにより、前事業年度末に比べ741億円減少して1,991億円となりました。

この結果、自己資本比率は17.8%、1株当たり純資産額は524円67銭となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは11億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得などにより、204億円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、31億円の支出となりました。

これらの結果、当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は533億円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想に関する事項につきましては、米国の金融危機に端を発した金融市場の混乱に伴い、有価証券評価損が前回予想に比べて大幅に増加する見通しとなったことから、平成20年11月19日に公表した業績予想を修正しております。

平成21年3月期の業績予想につきましては、第3四半期累計期間の業績と経済環境を勘案して、正味収入保険料を3,110億円、経常利益を△90億円、当期純利益を△40億円としております。

正味収入保険料につきましては、過去の実績を勘案した当社独自の予測に基づいております。

資産運用につきましては、最近の金融市場動向を踏まえた見込みとしております。

当社の業績予想は上記の前提条件に基づいておりますが、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	26,321	37,072
コールローン	28,500	42,700
買入金銭債権	—	955
有価証券	839,767	944,697
貸付金	38,830	45,835
有形固定資産	55,960	56,581
無形固定資産	237	238
その他資産	82,454	78,660
繰延税金資産	49,284	8,389
貸倒引当金	△992	△1,017
投資損失引当金	△2	△2
資産の部合計	1,120,362	1,214,111
負債の部		
保険契約準備金	891,595	899,494
支払備金	126,289	123,930
責任準備金	765,305	775,563
その他負債	24,320	30,988
未払法人税等	392	5,213
その他の負債	23,928	25,775
退職給付引当金	1,328	2,724
賞与引当金	—	545
特別法上の準備金	3,967	7,050
価格変動準備金	3,967	7,050
負債の部合計	921,211	940,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,328	47,328
資本剰余金	40,307	40,303
利益剰余金	74,792	83,558
自己株式	△4,933	△4,771
株主資本合計	157,494	166,419
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,656	106,888
評価・換算差額等合計	41,656	106,888
純資産の部合計	199,150	273,308
負債及び純資産の部合計	1,120,362	1,214,111

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
経常収益	286,302
保険引受収益	263,555
(うち正味収入保険料)	234,263
(うち収入積立保険料)	12,388
(うち積立保険料等運用益)	6,645
(うち責任準備金戻入額)	10,257
資産運用収益	22,115
(うち利息及び配当金収入)	20,339
(うち有価証券売却益)	8,406
(うち積立保険料等運用益振替)	△6,645
その他経常収益	631
経常費用	298,479
保険引受費用	228,715
(うち正味支払保険金)	142,263
(うち損害調査費)	13,263
(うち諸手数料及び集金費)	39,929
(うち満期返戻金)	30,110
(うち支払備金繰入額)	2,359
資産運用費用	26,507
(うち有価証券売却損)	4,693
(うち有価証券評価損)	17,811
営業費及び一般管理費	42,711
その他経常費用	544
(うち支払利息)	0
経常損失(△)	△12,176
特別利益	3,196
特別法上の準備金戻入額	3,083
価格変動準備金戻入額	3,083
その他	113
特別損失	329
税引前四半期純損失(△)	△9,309
法人税及び住民税	380
法人税等調整額	△3,962
四半期純損失(△)	△5,727

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△9,309
減価償却費	2,774
減損損失	12
支払備金の増減額(△は減少)	2,359
責任準備金の増減額(△は減少)	△10,257
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25
投資損失引当金の増減額(△は減少)	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,395
賞与引当金の増減額(△は減少)	△545
価格変動準備金の増減額(△は減少)	△3,083
利息及び配当金収入	△20,339
有価証券関係損益(△は益)	14,292
支払利息	0
為替差損益(△は益)	939
有形固定資産関係損益(△は益)	204
その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は増加)	△366
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は減少)	△1,964
その他	12,806
小計	△13,899
利息及び配当金の受取額	20,138
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△7,359
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	
預貯金の純増減額(△は増加)	△448
買入金銭債権の取得による支出	△795
買入金銭債権の売却・償還による収入	1,758
有価証券の取得による支出	△160,168
有価証券の売却・償還による収入	134,581
貸付けによる支出	△1,986
貸付金の回収による収入	8,991
資産運用活動計	△18,066
営業活動及び資産運用活動計	△19,186
有形固定資産の取得による支出	△2,535
有形固定資産の売却による収入	168
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入金の返済による支出	△0
自己株式の売却による収入	40
自己株式の取得による支出	△198
配当金の支払額	△3,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	△646
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25,398
現金及び現金同等物の期首残高	78,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,343

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考資料】

(1) 前第3四半期累計期間に係る四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期累計期間
		(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
		金 額
経 常 収 益		300,620
保 険 引 受 収 益		261,586
(うち正味収入保険料)	(238,710)
(うち収入積立保険料)	(16,121)
(うち積立保険料等運用益)	(6,687)
資 産 運 用 収 益		38,191
(うち利息及び配当金収入)	(23,551)
(うち有価証券売却益)	(21,284)
(うち積立保険料等運用益振替)	(△ 6,687)
そ の 他 経 常 収 益		843
経 常 費 用		290,037
保 険 引 受 費 用		237,359
(うち正味支払保険金)	(146,473)
(うち損害調査費)	(12,411)
(うち諸手数料及び集金費)	(40,019)
(うち満期返戻金)	(35,508)
(うち支払備金繰入額)	(1,146)
(うち責任準備金繰入額)	(1,708)
資 産 運 用 費 用		10,475
(うち有価証券売却損)	(7,496)
(うち有価証券評価損)	(826)
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費		41,022
そ の 他 経 常 費 用		1,180
(うち支払利息)	(0)
経 常 利 益		10,583
特 別 利 益		45
特 別 損 失		1,610
特別法上の準備金繰入額	(506)
価格変動準備金繰入額	((506))
そ の 他	(1,103)
税 引 前 四 半 期 純 利 益		9,018
法 人 税 及 び 住 民 税		6,994
法 人 税 等 調 整 額		△ 4,164
四 半 期 純 利 益		6,188

(2) 当第3四半期会計期間に係る四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
		金 額
経 常 収 益		96,335
保 険 引 受 収 益		91,097
(うち正味収入保険料)		(78,527)
(うち収入積立保険料)		(4,276)
(うち積立保険料等運用益)		(2,122)
(うち責任準備金戻入額)		(6,171)
資 産 運 用 収 益		5,036
(うち利息及び配当金収入)		(6,513)
(うち有価証券売却益)		(634)
(うち積立保険料等運用益振替)		(△ 2,122)
そ の 他 経 常 収 益		200
経 常 費 用		113,286
保 険 引 受 費 用		78,659
(うち正味支払保険金)		(50,006)
(うち損害調査費)		(4,624)
(うち諸手数料及び集金費)		(13,718)
(うち満期返戻金)		(12,140)
(うち支払備金繰入額)		(△ 2,370)
資 産 運 用 費 用		19,506
(うち有価証券売却損)		(2,791)
(うち有価証券評価損)		(14,437)
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費		15,047
そ の 他 経 常 費 用		73
(うち支払利息)		(0)
経 常 損 失 (△)		△ 16,951
特 別 利 益		3,528
特別法上の準備金戻入額		(3,417)
価格変動準備金戻入額		((3,417))
そ の 他		(111)
特 別 損 失		234
税引前四半期純損失(△)		△ 13,657
法人税及び住民税		△ 3,656
法人税等調整額		△ 1,772
四半期純損失(△)		△ 8,227

6. その他の情報

当四半期の損益状況

※当四半期との比較の便を考慮し、前年同四半期についても当四半期と同様の基準による数値を記載しております。

(単位：百万円)

区 分		前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	比較増減	増減率
元受正味保険料(含む収入積立保険料)①		276,306	273,888	△ 2,418	△ 0.9%
(元受正味保険料)②		(260,185)	(261,499)	(1,314)	(0.5)
経常	保 險 引 受 収 益 ③	261,586	263,555	1,969	0.8
	(うち正味収入保険料)④	(238,710)	(234,263)	(△ 4,446)	(△ 1.9)
	(うち収入積立保険料)⑤	(16,121)	(12,388)	(△ 3,732)	(△ 23.2)
	保 險 引 受 費 用 ⑥	237,359	228,715	△ 8,643	△ 3.6
	(うち正味支払保険金)⑦	(146,473)	(142,263)	(△ 4,210)	(△ 2.9)
	(うち損害調査費)⑧	(12,411)	(13,263)	(851)	(6.9)
	(うち諸手数料及び集金費)⑨	(40,019)	(39,929)	(△ 89)	(△ 0.2)
	(うち満期返戻金)⑩	(35,508)	(30,110)	(△ 5,398)	(△ 15.2)
	資 産 運 用 収 益 ⑪	38,191	22,115	△ 16,075	△ 42.1
	(うち利息及び配当金収入)⑫	(23,551)	(20,339)	(△ 3,212)	(△ 13.6)
(うち有価証券売却益)⑬	(21,284)	(8,406)	(△ 12,878)	(△ 60.5)	
資 産 運 用 費 用 ⑭	10,475	26,507	16,032	153.0	
(うち有価証券売却損)⑮	(7,496)	(4,693)	(△ 2,803)	(△ 37.4)	
(うち有価証券評価損)⑯	(826)	(17,811)	(16,985)	(2,054.6)	
益	営 業 費 及 び 一 般 管 理 費 ⑰	41,022	42,711	1,688	4.1
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)⑱	(38,025)	(39,691)	(1,666)	(4.4)
	そ の 他 経 常 損 益 ⑲	△ 336	87	423	—
経 常 利 益 ⑳	10,583	△ 12,176	△ 22,760	△ 215.1	
(保険引受利益)㉑	(△ 13,705)	(△ 4,425)	(9,279)	(—)	
特別損益	特 別 利 益 ㉒	45	3,196	3,150	6,866.3
	特 別 損 失 ㉓	1,610	329	△ 1,281	△ 79.5
	特 別 損 益 ㉔	△ 1,564	2,867	4,431	—
税 引 前 四 半 期 純 利 益 ㉕	9,018	△ 9,309	△ 18,328	△ 203.2	
法 人 税 及 び 住 民 税 ㉖	6,994	380	△ 6,614	△ 94.6	
法 人 税 等 調 整 額 ㉗	△ 4,164	△ 3,962	202	—	
四 半 期 純 利 益 ㉘	6,188	△ 5,727	△ 11,916	△ 192.6	
諸比率	正 味 損 害 率 ㉙	66.6%	66.4%		
	正 味 事 業 費 率 ㉚	32.7	34.0		

(注) 1. 保険引受利益=保険引受収益 - (保険引受費用+保険引受に係る営業費及び一般管理費) ±その他収支
なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。

2. 正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費) / 正味収入保険料 × 100

3. 正味事業費率=(諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費) / 正味収入保険料 × 100

種目別保険料・保険金

※当四半期との比較の便を考慮し、前年同四半期についても当四半期と同様の基準による数値を記載しております。

元受正味保険料(除く収入積立保険料)

区 分	前第3四半期累計期間 〔自平成19年4月1日 至平成19年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自平成20年4月1日 至平成20年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	44,870	17.2	△ 5.6	47,603	18.2	6.1
海 上	5,113	2.0	4.8	5,309	2.0	3.8
傷 害	23,845	9.2	0.3	23,226	8.9	△ 2.6
自 動 車	121,129	46.6	△ 0.2	120,039	45.9	△ 0.9
自動車損害賠償責任	29,987	11.5	△ 1.2	24,155	9.2	△19.4
そ の 他	35,238	13.5	△ 0.3	41,164	15.7	16.8
合 計	260,185	100.0	△ 1.2	261,499	100.0	0.5

正味収入保険料

区 分	前第3四半期累計期間 〔自平成19年4月1日 至平成19年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自平成20年4月1日 至平成20年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	32,204	13.5	△ 7.1	34,397	14.7	6.8
海 上	3,905	1.6	11.8	4,052	1.7	3.8
傷 害	23,239	9.7	0.5	22,739	9.7	△ 2.2
自 動 車	121,044	50.7	△ 0.2	119,851	51.2	△ 1.0
自動車損害賠償責任	29,604	12.4	△ 1.2	24,228	10.3	△18.2
そ の 他	28,712	12.0	△ 6.2	28,994	12.4	1.0
合 計	238,710	100.0	△ 1.8	234,263	100.0	△ 1.9

正味支払保険金

区 分	前第3四半期累計期間 〔自平成19年4月1日 至平成19年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自平成20年4月1日 至平成20年12月31日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味 損害率(%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味 損害率(%)
火 災	13,332	△18.2	43.2	12,819	△ 3.8	39.0
海 上	1,999	1.6	54.2	2,295	14.8	59.4
傷 害	13,109	45.9	61.3	11,613	△11.4	56.3
自 動 車	81,411	8.6	73.6	77,533	△ 4.8	71.8
自動車損害賠償責任	21,092	△ 1.7	78.8	21,098	0.0	95.9
そ の 他	15,527	2.4	56.5	16,901	8.8	60.8
合 計	146,473	5.5	66.6	142,263	△ 2.9	66.4

(注) 正味損害率は正味支払保険金に損害調査費を加えて算出しております。

有価証券関係

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)及び前事業年度末(平成20年3月31日)
該当事項はありません。

2. 子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)及び前事業年度末(平成20年3月31日)
該当事項はありません。

3. その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

種 類	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)			前事業年度末 (平成20年3月31日)		
	取得原価	四半期貸借 対照表計上額	差 額	取得原価	貸借対照 表計上額	差 額
公 社 債	340,080	345,091	5,010	291,417	296,081	4,664
株 式	203,574	284,584	81,009	206,020	371,092	165,072
外 国 証 券	197,136	175,693	△21,443	244,944	242,777	△2,166
そ の 他	16,430	17,273	842	17,837	17,794	△43
合 計	757,223	822,642	65,419	760,220	927,745	167,525

当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
<p>1. その他有価証券で時価のあるものについて、17,690百万円の減損処理を行っております。なお、当該有価証券の減損にあたっては、当四半期会計期間末の時価が取得原価に比べて30%以上下落しているものを全て減損処理の対象としております。</p>	<p>1. 貸借対照表において買入金銭債権として処理されている商品投資受益権を「その他」に含めております。</p> <p>2. その他有価証券で時価のあるものについて、706百万円の減損処理を行っております。なお、当該有価証券の減損にあたっては、当事業年度末の時価が取得原価に比べて30%以上下落しているものを全て減損処理の対象としております。</p>

金銭の信託関係

1. 満期保有目的の金銭の信託

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)及び前事業年度末(平成20年3月31日)
該当事項はありません。

2. 運用目的、満期保有目的以外の金銭の信託

当第3四半期会計期間末(平成20年12月31日)及び前事業年度末(平成20年3月31日)
該当事項はありません。

デリバティブ取引関係

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益の状況

(単位:百万円)

対象物の種類	取引の種類	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)			前事業年度末 (平成20年3月31日)		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
その他	天候デリバティブ取引 売建	- (-)	-	-	0 (0)	0	0
	買建	- (-)	-	-	0 (0)	0	-
合計		—	—	-	—	—	0

当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は 除いております。	1. 同左 2. 「契約額等」欄下段()書きの金額は、契約時のオプション料であります。

(参考) 上記以外で時価ヘッジを適用しているものは以下のとおりであります。

対象物の種類	取引の種類	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)			前事業年度末 (平成20年3月31日)		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
通貨	為替予約取引 売建	115,629	109,522	6,106	113,934	109,189	4,744
合計		—	—	6,106	—	—	4,744

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結) 補足資料

証券化商品等への投資状況

当社においては、サブプライム関連の投融資はありません。証券化商品等への投資状況を記載しています。

<投資状況>

①特別目的事業体(SPEs)一般

当該資産の投資実績・保有はありません。

②債務担保証券(CDO)

当該資産の投資実績・保有はありません。

③その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

当該資産の投資実績・保有はありません。

④商業用不動産担保証券(CMBS)

当該資産の投資実績・保有はありません。

⑤レバレッジド・ファイナンス

当該資産の投資実績・保有はありません。

⑥資産担保証券(ABS)(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
資産担保証券(ABS)	6	0	—
シニア	6	0	—
メザニン	—	—	—
エクイティ	—	—	—

※裏付資産は国内資産

⑦債券担保証券(CBO)(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
債券担保証券(CBO)	34	▲0	▲0
シニア	24	▲0	▲0
メザニン	9	▲0	—
エクイティ	—	—	—

※裏付資産は国内資産

⑧その他(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
その他	20	▲1	▲4
変動利付債券	9	▲0	—
ヘッジファンド	10	▲0	▲4

以上